

Microsoft 包括ライセンス運用業務

総合情報基盤センター 小野 隆久、松前 進
総務部情報管理課 原田 照利、木下 勝浩、内田 寛

1. はじめに

2014年10月より「Microsoft 包括ライセンス」（以下、包括ライセンスという）が利用できるようになりました。その運用開始にあたり、総合情報基盤センターと情報管理課共同で運用準備に取り組みました。

準備期間は、およそ3ヶ月で、その間にMicrosoft社との打合せ、岡山大学での先行事例の視察などを行い、包括ライセンスの運用業務に必要なライセンス管理、ソフトウェアの提供方法など運用に係る技術情報などを収集し、円滑な学内サービスが提供できるように準備を進めました。

また、包括ライセンス対象ソフトウェアの学内専用ダウンロードサイト構築のための学内予算要求も合わせて行いました。

2. 包括ライセンスの学内広報

教職員、学生に対しての包括ライセンスに関する学内広報業務を行いました。

(1) 学内通知

情報管理課で、教職員及び学生向けの「包括ライセンス利用案内」の文案を作成し、7月と運用開始前後に学内通知を行いました。

また、来年度の新入生に対しては、入学案内等で周知を行います。

(2) ホームページの公開

総合情報基盤センターがホームページ (<http://www.cc.saga-u.ac.jp/mees/>) の作成を担当し、包括ライセンスの利用要領、ソフトウェアの利用案内及びソフトウェアのインストール／アップグレード手順、利用上の注意など利用者への情報提供を行っています。

3. KMS ライセンスサーバの構築

情報管理課と総合情報基盤センター共同で、業務用仮想システムに「KMS ライセンスサーバ」を構築しました。

また、情報管理課で、Office と Windows OS 用の「KMS ライセンス認証コマンド」を作成し、「包括ライセンス利用案内」のホームページからダウンロードできるようにしました。

利用者は、ソフトウェアをインストール後、ダウンロードした「KMS ライセンス認証コマンド」を実行することで「KMS ライセンス」によるライセンス認証を行うことができます。

4. ソフトウェアの貸し出し業務

包括ライセンスの学内専用ダウンロードサイトの運用が12月以降にずれ込んだため、ダウンロードサイト運用開始までの間、インストールメディアの貸し出し業務で対応することになりました。

情報管理課で、包括ライセンス Web サイトから下記のソフトウェアをダウンロードし、総合情報基盤センターで必要枚数のインストールメディアを作成しました。

(1) Office

- ・ Office Pro Plus 2007 32bit（日本語）
- ・ Office Pro Plus 2010 32bit/64bit（日本語/英語）
- ・ Office Pro Plus 2013 32bit/64bit（日本語/英語）
- ・ Office for Mac 2011（日本語/英語）

(2) Windows OS アップグレードライセンス

- ・ Windows Vista Enterprise 32bit/64bit (日本語)
- ・ Windows Vista Business 32bit/64bit (日本語)
- ・ Windows 7 Enterprise 32bit/64bit (日本語/英語)
- ・ Windows 7 Professional 32bit/64bit (日本語/英語)
- ・ Windows 8 Enterprise 32bit/64bit (日本語/英語)
- ・ Windows 8 Professional 32bit/64bit (日本語/英語)
- ・ Windows 8.1 Enterprise 32bit/64bit (日本語/英語)
- ・ Windows 8.1 Professional 32bit/64bit (日本語/英語)

貸し出し業務の手順としては、

- 1 インストールメディアの貸し出し時に職員証で対象教職員であることを確認後、「包括ライセンス」の利用条件に関する同意署名をしてもらい貸し出します。
- 2 利用者は、インストール/アップグレード作業後、インストールメディアを返却します。
また、包括ライセンス提携業者である佐賀大学生協でも、インストール/アップグレード作業の代行サービスを行っており、佐賀大学生協で購入した PC は無料、それ以外の PC は有料で対応しています。

5. 特典オプションの運用

包括ライセンスには、教職員及び学生向けの「特典オプション」が用意されており、総合情報基盤センターでは、学内サービスとして特典オプションの利用に係る業務を行っています。

(1) 教職員向け特典オプション「自宅使用プログラム (HUP)」

このオプションは、「自宅使用プログラム」の特典を受けられる教職員が、有料 (1,500 円) で個人所有 PC (2 台まで) に対象ソフトウェア (Office Pro Plus 2013 または Office for Mac 2011) をインストールして使用できる特典です。

この特典オプションを利用するため、情報管理課が「包括ライセンス」の「特典の管理」の「自宅使用プログラム」の設定を行い、プログラムコードを入手しました。

運用の手順としては、

- 1 総合情報基盤センターに「自宅使用プログラム」の利用申し込みを行う。
- 2 利用申込者が、特典が利用できる教職員であることを確認する。
- 3 利用申込者に、「自宅使用プログラム」の Web サイト、サインイン ID とプログラムコード、利用手順、利用上の注意などをメールで送付する。
- 4 利用申込者は、メールの利用手順に従って、「自宅使用プログラム」 Web サイトから対象ソフトウェアをダウンロードし、個人所有の PC にインストールする。
いまのところ、利用者からのトラブル等の報告もなく順調にサービスを提供できています。

(2) 学生向け特典オプション「Student Advantage」

このオプションは、佐賀大学に在籍する全ての学生・院生が個人で購入した PC (Mac を含む 5 台まで) に無料で対象ソフトウェア (Office 365 Pro Plus クラウド版、Office for Mac 2011) をインストールして使用できる特典です。

この特典オプションを利用するため、情報管理課が「包括ライセンス」の「特典の管理」の「Student Advantage」の設定を行いました。

運用手順としては、

- 1 学生は、総合情報基盤センターに利用申し込みを行う。
- 2 1 週間毎に情報管理課の担当者に利用申込者一覧 (csv ファイル) を送る。
- 3 情報管理課の担当者が利用申込者一覧ファイルで一括利用登録を行う。
- 4 Microsoft 社からメールでサインイン ID とパスワードの一覧が送られてくる。
- 5 各利用申込者に、「Office 365 ポータル」 Web サイト、サインイン ID とパスワード、利用手順、利用上の注意などをメールで送付する。
- 6 利用申込者は、メールの利用手順に従って、「Office 365 ポータル」 Web サイトから対象ソフトウェアをダウンロードし、個人所有の PC にインストールする。
いまのところ、学生からのトラブル等の報告もなく順調にサービスを提供できています。

なお、来年度から Office 365 と学内認証との連携を予定しており、サービス業務の効率化が期待されています。

6. 学内専用ダウンロードサイトの構築・運用

包括ライセンスのソフトウェアの貸し出し業務の効率化を図るため、学内専用のダウンロードサイトの導入を計画し、12月中旬には運用を開始する予定です。

ダウンロードサイトは、Web サーバと DB サーバの構成で、統合認証システムと連携した利用者認証、ファイル管理機能、利用履歴出力機能などを有しています。

利用者は、ダウンロードサイトで認証後、「包括ライセンス」の利用条件に関する同意を行い、ソフトウェアのダウンロードを行います。

7. おわりに

包括ライセンスの運用開始前から教職員、学生からの問い合わせも多く、運用開始から連日、インストールメディアを借りに来るため、事前に用意していたインストールメディアが足りなくなり追加作成するほどでした。

運用開始から2ヶ月ほどが経過し、インストールメディアの貸し出しも落ち着いてきましたが、今後は、新入生、新採教職員への講習会などで利用案内を行い、「包括ライセンス」の利用促進をさらに進めていきたいと思っています。